

県歌「信濃の国」制定50周年④

「信濃の国」が県の歌である県歌に決まってから、今年でちょうど50年！ 今回の四番だけ、メロディーがちがっています。ゆったりの感じですよ。そのメロディーにのり、長野県の名所や旧跡を紹介しています。



姨捨の棚田で田植えをする小学生

〈四番〉

尋ねまほしき園原や
旅のやどりの寢覚の床

木曾の棧かけし世も
心してゆけ久米路橋

くる人多き筑摩の湯
月の名にたつ姨捨山

しるき名所と風雅士が
詩歌に詠みてぞ伝えたる

〈意味〉

園原には訪れてみたいものです。また旅の宿で有名な寢覚の床にも訪れてみたいものです。

木曾の棧をかけた時代を心にとめながら、久米路橋を注意しながら渡りたいものです。

筑摩の湯の温泉には来る人が多く、姨捨山は月見で有名となっています。

いずれもよく知られている名所で、風流な歌人や詩人が、昔から漢詩や和歌に歌い込んで、現代まで伝えられています。

みなさんは、いくつ行ったことがありますか？ 近くに

にありますか？ 地図でも探してみましよう。

次回は、五番の意味を紹介します。

作成…長野県教育委員会 教学指導課・企画振興部 広報県民課



* 学年だより等でこのまま紹介することも可能です。